



平成27(2015)年7月17日

電話：77-2030
Fax：77-6733

一学期も今日で終わりです。

今年の一学期は6月に雨山で運動会があり、準備に必要なものをすべて雨山まで運んだり、バスで移動して練習を行ったりと、かつて経験したことのないことばかりの中で、やっと乗り越えられた一学期となりました。でも、そんな中にあっても、懸命に取り組んだ子どもたちの生き生きとした表情や、保護者の皆様の心温まるご協力など、「やり遂げた」という達成感と充実感にあふれる貴重な体験ともなりました。

明日から、いよいよ長い夏休みに入ります。保護者の皆様には、子どもたちが家庭で過ごすことの意義を十分に踏まえていただきまして、安全で充実した毎日が送れますように、また、地域の皆様には、夏休み中においても、ラジオ体操をはじめとする様々な地域行事は勿論のこと、日々の子どもたちの様子を見守っていただきますよう、どうぞよろしくお願ひいたします。

暑さに負けずに鍛えよう！！

体力の向上！！ 夏休みに入って、まず、最初に始まるのが「水泳教室（3年～6年）」。水泳は、優れた全身運動です。各学年ごとに設定された「水泳教室」で泳力をつけ、体力を向上させてください。ただし、睡眠不足でプールに入ることは危険です。「水泳教室」の前日はしっかり睡眠をとり、体調を整えておきましょう。また、6年生は、7月23日の市水泳記録会に向けて、自己ベストを目指して頑張ります。そして、30日には県水泳記録会が、8月6日には県陸上記録会が開催されます。



水泳の授業・4年生（7／14）

学力の向上！！ 夏休みの課題として出された「宿題」にしっかりと取り組み、一学期に習った内容が自分のものとなるように頑張りましょう。夏休みの学習がうまく進むためには、よりよい生活習慣が何よりも大切です。早寝・早起きを心がけ、午前中の涼しい間に勉強を済ませましょう。ゲームをする時間やテレビを見る時間はしっかりと決めて、規則正しい生活を送るようにしてください。また、復習に際しては、四月にお配りした「家庭学習の手引き」を是非参考にしていただき、「つけなければならない力」を確かめていただけると有り難いです。

また、夏休みは、日頃はあまりできていないことに取り組める絶好のチャンスです。ちょっと長めの本を読んだり、調べ学習をしたり、あるいは、詩の暗唱に取り組んだりと、いろいろ工夫して「力」をつけてください。

石部小コミュニティースクール・学習支援委員会主催の「いしべっ子夏休み宿題教室（夏休み中の5日間・10講座）」には、48人の子どもたちが参加する予定です。まちづくりセンターで、地域の方々が子どもたちに教えてくださいます。また、昨年に引き続き、「郷土資料博士になろう！！・パート2」も、夏休み中に4日間（5講座）開催します。この講座では、郷土資料について「聞き取り・体験活動・調査読書・まとめ」を行い、最終的には、子どもたちがまとめてくれたことを整理して、授業で活用できるような「小冊子」を作成することを目指しています。

保護者の皆様には、学級懇談会でお渡しした連絡簿により、まずは、よいところを十分に認めてやっていただきたいと思います。また、努力を要したり、見直すべき点については、これからどのようにしていけばよいか、じっくり話し合っていただきたいと思います。お家の方に自分の思いを十分に聞いてもらったり、話しあったりすることは、子どもにとって何にも替えがたい大きな励みになります。よろしくお願ひいたします。

「命」を守り、育てることを大切に！！



<起震車体験・7/8>

今年も、5年生が起震車体験に取り組みました。起震車に乗って、東日本大震災（2011年）や、阪神淡路大震災（1995年）、関東大震災（1923年）などの揺れを体験し、甲賀消防署の方から、実際に地震が起こったときの対処について教えていただきました。

<食指導6/29～牛乳の秘密>

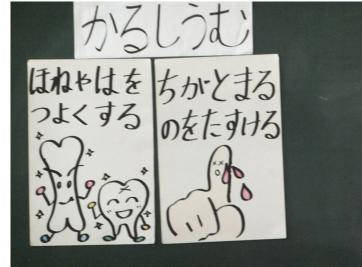
給食センターの栄養士さんにお越しいただき、1年生が「牛乳の秘密」について学習しました。

牛乳には、「カルシウム」がいっぱい含まれていること、そして、その「カルシウム」は、体によいことをしてくれる働きがたくさんある・・・例え、「骨や歯を強くする」「血が止まるのを助けてくれる」「イライラしないようにしてくれる」・・・ことを教えていただきました。

また、この食指導にさきがけ、6/25には、1年生の保護者の方を対象にした「給食試食会」も実施いたしました。そのときにいただいた保護者の方の感想を一部紹介いたします。

「薄味に感じた汁物も、本来はこういう味なんだろうと気づいた。家庭での味付けも塩分を控えめにしたい。」「地産地消など、家でも安全性の高いものを食べさせたい。」「給食も勉強の一つというお話が心に残った。魚の骨をとるなど、家でもできるようにしていきたい。」etc

忙しい毎日ですが、「食」は生きることの基本であることを、常に忘れずにいたいものです。



子どもたちが、給食を配膳をする様子も見ていただきました。

「こんなこともできるようになっているんだ！！」と、感じていただいたのではないかと思います。

夏休み、家族の中での役割を決めて、子どもたちが活躍できる場も作ってやっていただければと思います。

<右・1年生が給食を配膳する様子です。>



石部小CS学校運営協議会より

コミュニティー・スクールとしてスタートして、早3ヶ月半。地域の方々の子どもたちへの思いは大変熱く、どうやって子どもたちの安全を守るか、どうすれば勉強の手助けができるかと、一生懸命になってくださっています。

6月26日、校外生活支援委員会の青木理事と子ども安全リーダーの北村潔様がPTA運営委員会にご出席くださいり、今般の不審者出没の状況やその対策を踏まえて、今後の「こなん子110番」の設置について、お話ををしていただきました。

学習支援委員会は、「いしべっ子の夏休み宿題教室・郷土資料博士になろう！！」の開催にあたり、企画・募集は勿論のこと、学習会場や指導にあたってくださる方々の確保等、「子どもたちのためになるならば。」と、何回も会議を重ね、「まちづくりセンター」や「まちづくり協議会・育てよういしべっ子部会」の方々とも連携して、準備を進めてくださいました。

学校・家庭・地域が、それぞれの役割を責任をもって果たしつつ、さらに連携を深めていくことが大切であると思います。

校舎建築も進んでいます。

いよいよ最上階の4階の姿が現れました（上）。

2つ目の校舎の基礎の部分も見えます（下）。

